

囲碁を活用した イノベーション人材・DX人材 の育成について

2023.5.27

株式会社アイゴ（設立予定）

一般社団法人SCBラボ



Social Community Brand
一般社団法人 SCBラボ

IGO

イノベーション人材とは？

- **新たな発想で、新たな価値観を創出することができる人材**

新規ビジネスの創出

新サービスの提供

アイデアの提示

新たなつながりの構築

カルチャ・文化の創出

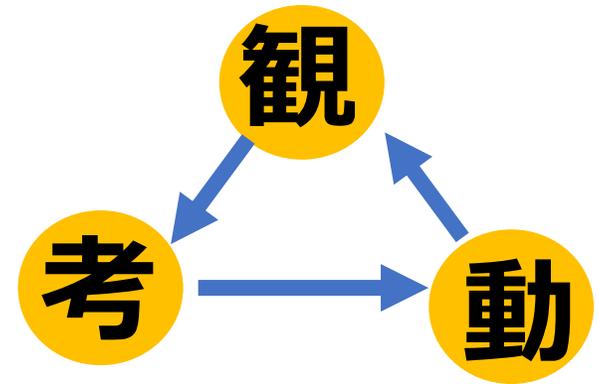
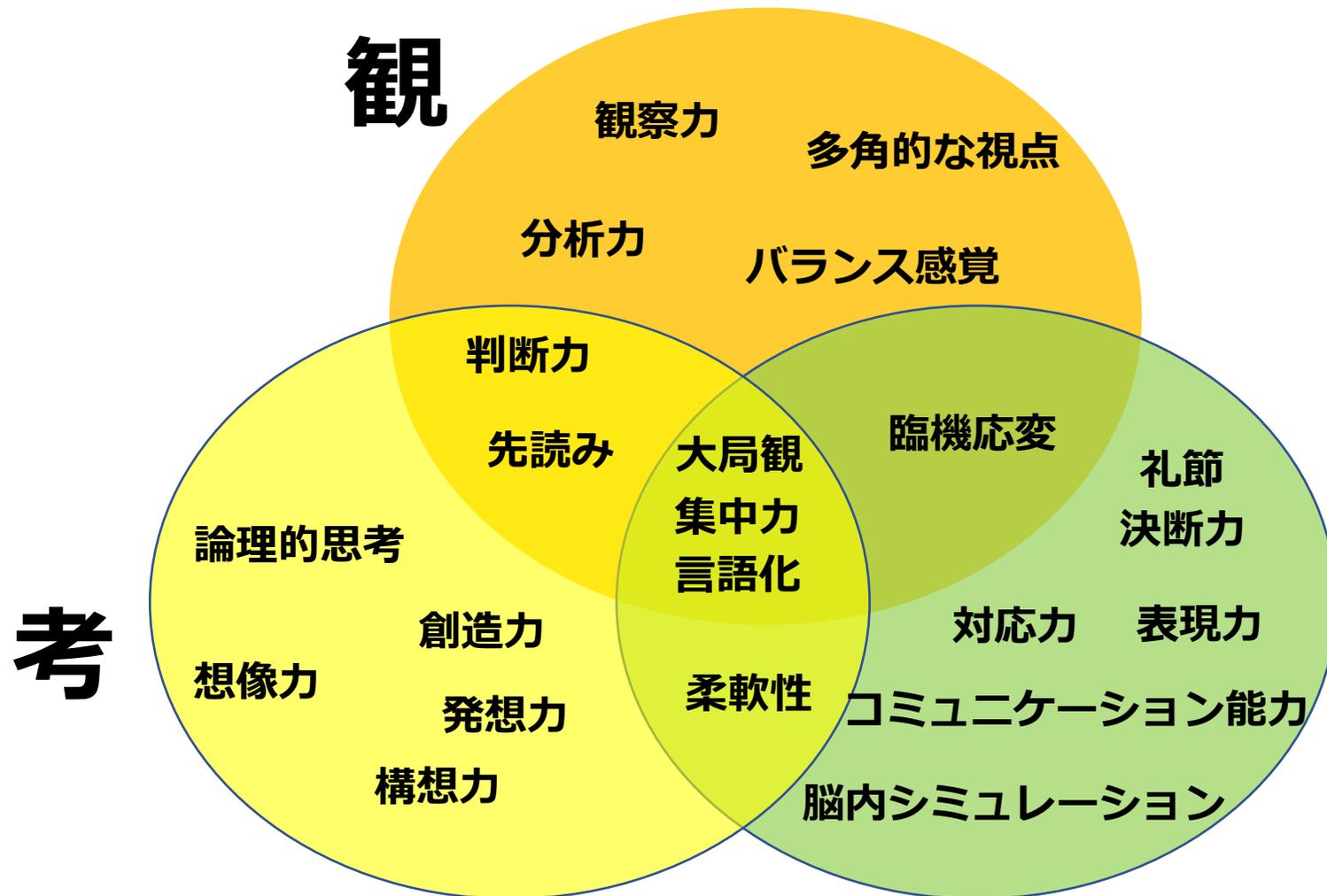
- **人材が地域創生、地方創生、地域活性化に貢献**
- **伝統とは新たな価値観を創出することである**
- **DX人材：デジタル・ICTを活用してイノベーションを創発できる人材**

IGO

囲碁を通じて身につけることができるスキル

- イノベーション人材にとって必要なスキル
 - 経営・戦略スキル
 - ロジカルシンキング（論理的思考）
 - イノベーションスキル
 - 地域DX・AIなどのICTスキル（囲碁AIとデータ分析）
- 文化人の教養といわれる「琴棋書画」の一つである棋（囲碁）を身に付けるだけでなく、囲碁は、新たな価値観を創出することができる人材を育成できる。囲碁普及にも寄与。
- ヘルスケア（健康の維持や増進）にも有効

因碁を通じて身につく効能



たとえば・・・囲碁とイノベーションの関係

■ イノベーション（新結合）とは？

(地域)資源同士の新たなつながりから新たな価値観を創出すること
(資源同士のつながりを構築する取り組み)

■ 囲碁とは？

石同士の新たなつながりから新たな価値観を創出すること
(石同士のつながりを構築するゲーム)

ふせき

布石を打つ・・・将来への投資

みなさんは、どんな石のどんなつながりを持っていますか？

■ 囲碁を活用してイノベーション人材を育成！！

人材育成とともにイノベーションハブを構築

IGO

九州大学にて囲碁の講義

「囲碁」大学授業に採用、論理的思考を養う狙い 遊技人口減にも歯止めの「一手」

2015/10/19 07:53

産経WEST | ライフ

みんなの反応



九州大の授業で囲碁の面白さを伝える吉原由香里六段

囲碁をカリキュラムに取り入れる大学が増えている。九州大は10月の平成27年後期から、九州の国立大では初めて、教養を身につける「基幹教育」として、囲碁を導入した。大学側は学生の論理的思考の醸成を狙い、日本棋院（東京）は囲碁人口の減少と、国際大会での存在感低下に歯止めをかけようという「目算」を抱く。

九州大は平成27年度後期から「囲碁で養う考える力」を開講した。計15回の授業を通じてルールだけでなく、礼儀・作法、囲碁の成り立ちを、吉原氏らプロ棋士から教わり、単位となる。

(奥原慎平)

IGO

学生に囲碁文化、広げたい 日本棋院など、全国40大学で授業

有料記事

2018年7月12日 16時30分



list 0

日本棋院では、囲碁は、

「大局観（グランドデザイン）を養える」

「論理的な思考、集中力、忍耐力を養える」

「世代間、国際交流のコミュニケーション力を付ける」

「答えのない局面で考える力、能動的に考える（頭を使う）力を身につける」

「負ける経験をして、それを克服する心を鍛えられる」

ものとして、これを用いた授業を小・中・高・大学等各教育機関に導入の働きか

なお、平成27年9月現在、日本棋院が大学囲碁授業で協力している大学等は以

導入大学等一覧（導入年次順）

- 東京大学
- 皇学館大学
- 東京工業大学
- 京都大学
- 神奈川大学
- 東京学芸大学
- 東邦大学
- 青山学院大学
- 筑波大学
- 名古屋大学
- 大阪大学
- 熊本学園大学 ※
- 早稲田大学
- 埼玉大学
- 江戸川大学
- 福山大学
- 福島大学
- 九州大学
- 慶応大学
- 琉球大学
- 近畿大学
- 一橋大学
- 日本農業経営大学校



学生が演じる盤上の大乱戦にアドバイスする前田良二七段＝千葉県野田市の東京理科大

ボードゲームの囲碁を授業で教える大学が増えている。原動力は、低迷する囲碁人口のV字回復をねらう日本棋院。2005年に東京大で初めて開講し、現在は関西棋院の提携校も合わせると京都、早稲田、慶応など40大学に広まった。「ゲームを覚えて単位が取れる」と学生に人気だ。囲碁文化の新たな担い手を求め、日本棋院…

IGO

イノベーション人材育成プログラム

- **オリエンテーション**
- **イノベーション講座・座学（第1回）**
経営・戦略・論理的思考・イノベーション・DX・言語化・ICT・SCB理論
プログプログラミング・ITパスポートなど
- **囲碁講座・対局（エクササイズ）（第2回）**
- **ワークショップ（第3回）**
- 21団体による地域イノベーション・DX実証実験への市民参加（人材の参加）
- イノベーション創発のためのコンサル（その他）
- 体験研修、多様性のための複数法人での合同研修、異業種交流など
- イノベーションハブ、DXハブの構築

IGO

講師

星合 真吾

- 早稲田大学社会科学部卒
- 元早稲田大学囲碁部 主将

▪ タイトル

ジュニア本因坊戦 準優勝

高校選手権 優勝

学生十傑戦 優勝

学生最強戦 優勝

全日本大学選手権 優勝2回

アジア大学選手権 準優勝

アマ名人戦 準優勝

- トレンドマイクロ(株)入社
マーケティングを担当

- 起業予定



星合さん 千金の初V

学生囲碁十傑戦

第54回全日本学生囲碁十傑戦（朝日新聞社、全日本学生囲碁連盟主催）が11月18、19日に京都市内で打たれ、早稲田大3年の星合真吾さん(22)が初優勝した。決勝で大本命だった専修大3年の大関稔さん(23)を破っての価値ある初タイトルだ。（大出公二）

学生界で圧倒的な戦績を誇る大関さんが、また一つタイトルを積み重ねるのか、彼の快進撃を止める選手が現れるのか。大会の焦点はその一点にあった。大関さんは一昨年の学生十傑戦の優勝以来、出場した学生の全国6大会をすべて制覇。この間タイトルを逃したのは、予選落ちした昨年の十傑戦と韓国の世界戦出場のため欠場した今年の最強位戦だけだ。一般棋戦でも今年、朝日アマ名人になり、学生の枠を飛び出してアマチュア棋界最高峰に上り詰めた。今大会も1回戦から順当に勝ち上がり、4連勝で決勝進出。もう一方のヤマカらが上がってきたのが星合さんだった。彼には心中、期すものがあった。星合さんはプロ棋士の星合志保二段の兄。自身も13歳から日本棋院の院生（プロ候補生）となつてプロをめざしていた。最上位のAクラスに上がったが、17歳

初のタイトルの

大関さん 痛

朝日新聞 2017.12.8

Asian University GO Tournament準優勝

講師

星合 志保

- 日本棋院 プロ棋士三段
- NHK囲碁番組司会(2019～)
- CS「囲碁将棋チャンネル」MC(2017～)



ファッション雑誌「JELLY」
2022.4月号



2022年カレンダー

2021.1.13夕刊フジ

特別講師



星合 隆成

<https://p2p-scb.net/>

工学博士

P2P・SCB提唱者

DX創発講座：

「地域創生のための地域DX」

- 1：DXとは～地域のためのDX～ (0.5h)
- 2：なぜDXが重要か？ (0.5h)
- 3：DXの起こし方 (1.5h)
- 4：我々の取り組み (1h)
人材育成/ハブ・PFの構築/SCB理論の普及
- 5：DX思考法・論理的思考法 (1h)
- 6：論理的思考法ワークショップ (1h)
- 7：メソッドを用いたDXワークショップ(1.5h)
：AI入門、IoT入門、Python入門、データサイエンス入門

- 崇城大学 IoT・AIセンター長
<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/iot-ai-center.html>
- 崇城大学 情報学部 教授
- 早稲田大学 招聘研究員
- (一社)SCBラボ 理事・所長
<https://scblab.jp/>
- 群馬大学 非常勤講師・客員教授

委員（熊本県内のみ）

- 熊本県長洲町ICT利活用検討委員会・座長, 2021.7～現在
- 熊本市スマートシティくまもと推進官民連携協議会・運営委員, 2021.7～現在
- 熊本県教育委員会運営指導委員会・委員, 2021.10.1～現在
- DX from KUMAMOTO・発起人・委員, 2021.6～現在 <https://www.dxfk.jp/>
- 熊本県イノベーションハイスクール評価委員会・委員, 2021.11.1～現在
- 熊本県上天草市行政改革推進委員会・委員長, 2022.9～現在
- 熊本市、熊本県との包括連携協定
<https://scblab.jp/topic/86-2019-12-27-23-21-34.html>
<https://scblab.jp/topic/282-kitaku220914.html>

IGO

P2P 提唱者

主役登場

P2P コミュニティ開花!

星合 隆成

NTT ネットワーク

サービスシステム研究所

主幹研究員



必要以上に管理されない、自由・平等・対等で、自律的なネットワーク社会を構築したい。これが1998年にブローカレスモデルを提唱したそもそもの動機でした。またブローカレスモデルに基づいて構築されるネットワークコミュニティを「Order-Taking Cyber Society (御用聞き社会)」と名づけました。これは、ネットワーク上の動作実体の嗜好・価値観・動作環境・状況等のさまざまな属性に従って、互いにふさわしい相手とコラボレーション可能なネットワーク上の仮想社会を、ブローカレスモデルに基づいて構築することをねらいとしています。

技術として、これまでにない斬新で革新的な要素技術が随所に盛り込まれています。また我々はSIONetを次世代ネットワークOSとして位置づけています。つまり、これまでの単なる2者間の直接通信機構を備えたネットワークOSから、自己組織化・自律分散協調が可能なネットワークOSへと飛躍するための、つまり次世代ネットワークOSとして進むべき1つの方向性をSIONetが示しています。またSIONetの特徴的な原理のいくつかは、他のP2Pプラットフォームにおいても採用されており、汎用的なP2P技術やネットワークOS技術としてもSIONetは役立つもの

IT 明日を興す

愛媛大地域情報学
研究報告会より

⑩

P2P (ピアツーピア) に参加し、端末間で直
接ファイルのやりとりすることで、
交換に利用されたネットワークが変
化して「アップスタール」になる。
が一九九九年に流行した。パソコン通信の時代、
ことから注目された。著情報を発信したい人は

NTT ネットワーク
サービスセンター

星合 隆成氏

作権などで物議を醸した
が、これは悪い使い方。
正しく使えば柔軟性と拡
張性に富んだシステムを
安価に作る。

P2Pの特徴は「必要
以上に管理されない」と
いうこと。従来のITモ
デルではネットワークに
管理者や仲介者がいるが
P2Pは「ローカール仲
介者レス。自由に対
等に自律的にネットワー

仲介者いないP2

情報管理や費用

情報が検索という意味で
プロカーの存在が大
きい。ウェブサイトに
く作っても「どこ」に
か」が知られないと見
もらえない。そこで検
サイトが登録した。Ya
hoo!などはプロカー
に当たる。プロカー
プロカーの存在には、
向き不向きがある。例
ばいくら検索エンジン
サイトを登録しても、
だ。



P2Pの特徴などを
説明する星合氏

応用されていくと考
いる。
(地域情報学のサイト
<http://www.sri.edim.ac.jp/>)

E-net

い〜ねっと



Javaをベースとした
P2P用プロトコル群



情報の持つ意味で効率的な
ルーティングを図る



マルチキャストで経路探索を効率化

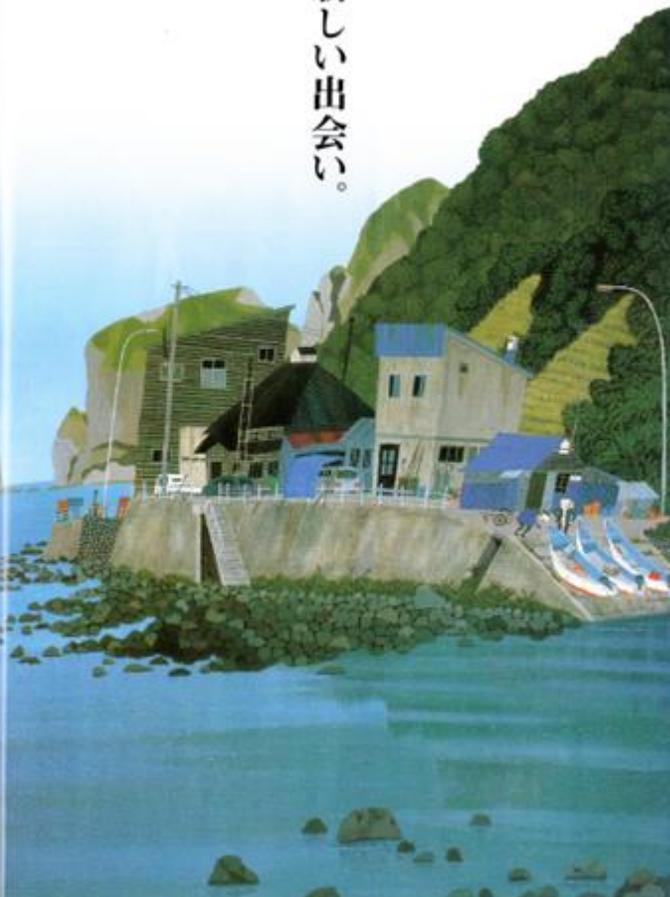
図4 P2Pシステム開発を下支えするプラットフォーム

P2Pアプリケーションの開発のためのプラットフォームも公開されている。「JXTA」は米Sun Microsystems社が開発したP2Pアプリケーションのためのプロトコル群。「SIONet」は、ローカール・モデルをコンセプトにNTTが開発した。京都大学を中心とするSOBAプロジェクトが開発しているのが「SOBA (Session Oriented Broadband Applications)」。

日経バイト2004年8月号 (P.23)

文芸春秋9月号, 2002.9

新しい出会い。



表彰状

意味情報ネットワークSION

日本電信電話株式会社

貴殿の右情報処理システ

情報化の促進に貢献し

誠に顕著なものがあ

ここにその功績をたたえ表

平成十四年十月一日

情報化月間推進協議会長 児玉

どこまでも透明な海に出る夫のかたわらで船の支度を手伝う妻の姿。旅先では探していたものに出会ったかのように心に響く光景があります。

あという間に世界へ広まったインターネット。いまやネット上には膨大な数の情報があり、この中から欲しいものを探し出すのは大変な作業です。そこで通常は、情報の仲介者としての検索サイトを利用します。この方法はとても便利ですが、利用が集中するとうなかりにくかったり、検索範囲に限りがあったり、また、たまたま発信された情報まではカバーできません。こうした仲介をいれずに、インターネットの利用者同士が直接情報のやりとりをする方法もあつていいのではないのでしょうか。NTT研究所が世界に先駆けて提唱した「SIONet」では、個人があらかじめ自分の端末に登録した内容を手がかりとして、欲しい情報が吸い寄せられるように集まっています。例えば「年齢四十五歳、趣味はジャズ、近々札幌へ出張予定」と書き込むと、札幌のジャズ喫茶案内が自然に届いたり、同好サークルから話がきたり、何よりも安心なのは、登録内容が自分の端末から外へ漏れないこと。また登録を消せば以後情報には来なくなり、罰金もはつていない所に魚がかかるような具合に、合致する情報だけが集まり、発信者と直接つながるのです。この新しい探索と発見の仕組みを今後どう活用していくか。可能性は無限大。一人一人の「私」が主役になる、個人に優しいインターネット技術です。

「SIONet」の利用イメージ



「SIONet」は、個人が端末に登録した内容で探索と発見ができる意味情報ネットワーク。例えば満員電車の中で、次の駅で降りる人が「誰れている人に声をかけた」と思えば、手持ちのPDAに登録するだけで、あらかじめ「荷物が多くてヘトヘトです」と登録していた女性の携帯電話に発信するなど、今後の活用次第で、暮らしの中の小さなコミュニケーションにも役立ちます。



AERA

'04.5.24
No.22定価360円
アエラ



概念は自由・平等・対等

とはいえ、ネガティブな面だけを強調するのは良くないかもしれない。たとえば、インターネットそのものが監視されている独裁国家で、人権活動家などが、当局に把握されずにメールのやり取りをする際に役立つ技術でもあるのだ。

P2Pの日本での第一人者といわれるNTTの星合隆成主幹研究員は、その概念について、

「誰にも必要以上に管理されない、自由で、平等・対等で、自律的なネットワーク社会」

と説明した上で、
「つまり諸刃の剣なんです」

助手の支援を呼びかけるホームページには、「ネットの自由を守らないと」などの書き込みも目立つ。裁判費用のカンパも3日間で約200万円集まったという。

編集部
内山洋紀

概念は自由・平等・対等

とはいえ、ネガティブな面だけを強調するのは良くないかもしれない。たとえば、インターネットそのものが監視されている独裁国家で、人権活動家などが、当局に把握されずにメールのやり取りをする際に役立つ技術でもあるのだ。P2Pの日本での第一人者といわれるNTTの星合隆成主幹研究員は、その概念について、
「誰にも必要以上に管理されない、自由で、平等・対等で、自律的なネットワーク社会」と説明した上で、
「つまり諸刃の剣なんです」
助手の支援を呼びかけるホームページには、「ネットの自由を守らないと」などの書き込みも目立つ。裁判費用のカンパも3日間で約200万円集まったという。

2004.5月号 Winny特集

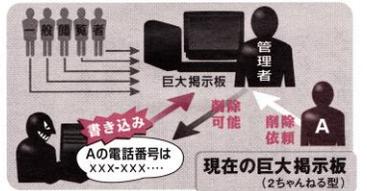
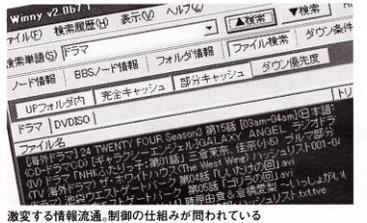
Winnyの先の恐怖

2ちゃんねる凌駕する「無法空間」の理論

開発した東大助手の逮捕で著作権問題が論議的となった。だが本当に怖いのはこの技術が「掲示板」に応用されたことだ。

その名は「P2P」

これに対し、ウイニーは、P2Pという新しいネットワーク技術を使っており、管理者はいない。P2Pは、パソコン同士が手を結んでいる、というような意味だ。この技術に応用した掲示板で



みると、図のように、一度書き込まれたものは、次々と不特定多数のパソコンにコピーされていき、実質的に消し去らなくなる。しかも、強力な匿名性があるので、書いた人を突き止めることもできない。つまり、完全な匿名自由言論空間ができることになる。

そして、この、誹謗中傷の書き込みが流れて、もう誰にもコントロールできないのだ。その怖さを、番知っているのは、助手を逮捕した京都府警だろう。

みられる名前や電話番号、過去の犯罪などが出てくる。テスト運用中と断り書きがあった、あるシステムの説明では「書き込みは消せません。75日間は消えるようにしてしまふ」とある。75日ということである。

ネット

「ファイル共有関連はやることがなくなってきた。暇つぶしにやってみます」
ファイル検索ソフト「Winny (ウイニー)」を開発したとして、著作権法違反の容疑で逮捕された33歳の東大助手は、ソフト公開から約1年後の昨年4月、新しいバージョンとして「2ちゃんねる」のような匿名掲示板機能をウイニーに盛り込むことを、2ちゃんねる上で公言した。
これが完成すれば、絶対に消せない上、2ちゃんねるをはるかに超える自由な匿名掲示板ができる。そう思った利用者は少なくないだろう。
なぜか、従来型のホームページはサーバーと呼ばれるコンピュータの中に置かれている。サーバーには必ず「管理者」がいる。代表的な大規模掲示板で、誹謗中傷の書き込みが時に問題となる「2ちゃんねる」の場合も同じ。これらの掲示板に、プライバシーを侵害するような書き込みをされた場合は、管理者が閲覧する仕組みができていて、放置した場合、名譽

毀損で訴えられ、損害賠償を求められるのは、管理者だからだ。データがたまっているサーバーは、カ所なので、それを削除すれば、もう誰も見られなくなる。

「Aの電話番号はxxx-xxx-xxx...」
「書き込み」

「Aの電話番号はxxx-xxx-xxx...」
「書き込み」

「Aの電話番号はxxx-xxx-xxx...」
「書き込み」

ト協会など訴訟問題になりサービス変更を余儀なくされたのは記憶に新しいところ。音楽データをユーザー間で無料で交換できることが著作権上の問題となった。その“Napster問題”が日本で再燃しそうだ。

11月1日、日本語のP2Pファイル交換サービス「ファイルローグ」が始まり、初日だけで1600人がID登録した。P2Pとは、Peer to Peer または Person to Person の略で、サーバーを介さず個人対個人のパソコンで情報を交換するシステムのこと。ファイルロ

11月1日に日本レコード協会より発表された文書より

自分で撮った写真や自作自演の音楽などを交換もしくは共有するためにアップロードするのであれば法的な問題は生じません。しかし、レコード会社から発売されているCDの音楽を、

ロードする。ファイルローグは、全ユーザーからアップロードされたファイルリストをまとめて持っており、ユーザーは欲しいファイルを検索し、ファイルを持つユーザーのパソコンからダウンロードする。Napsterとまったく同じ仕組みだが、NapsterがMP3ファイルの交換だけだったのに対し、ファイルローグではJPEG、MPEG、ZIPなど様々なタイプのファイル交換ができる。カナダのITP Web Solutions社製のソフトを日本語化している。ファイルタイプでの検索、ソートや、一定量以上ファイル共有しているユーザーでないと、ダウンロードできないように設定できるなど機能面が優れている。

P2Pビジネスのためには著作権問題の訴訟も歓迎!!

ファイルローグが公開された当日、日本レ



初日よりサーバーがダウンするほどアクセスが殺到した。Windows用ソフトがダウンロードできる <http://www.filerogue.net/>

ADSLトラブル解決/プロバイダー番付/WinXPの落とし穴

日経ネットナビ

2002年1月1日発行(毎月1日発行)
発行所: 日経ネットナビ編集部
1997年4月15日創刊(第1000号発行)

定価790円

netn@vi

一步先いくインターネット活用誌
ついに8メガサービスに参入!

フレッツ・ADSL“帝国の逆襲”

ライブカメラ、IP電話、ネットラジオ...

実践! コレがお薦め 常時接続でできること

★ キャッシュバック
10万円
が当たる!
Windows XP
詳しくはこちら!
キャンペーン

ファイル交換という“禁じ手”以外で勝負を!

NTT未来ねっと研究所ネットワークインテリジェンス研究部 星合隆成 主幹研究員

NTT未来ねっと研究所で、P2P技術「SIONet(シオネット)」の開発に取り組む星合隆成主幹研究員は、P2Pソフトを音楽ファイルの交換に使うことに「ベンチャーはアイデア勝負をしてほしい」と苦言を呈す。

「P2Pは大金を投じてサーバーを

作る大企業に、ベンチャーが対抗する道具。参加者のリソースを使い多大な設備投資をせずに大量の情報処理ができる。ファイル交換のような“禁じ手”でせっきくの可能性をつぶしてほしくない」

実際、去年のNapster問題時には、

「なぜそんな技術をNTTで開発するんだ」という意見もあった。SIONetは1998年に開発を始め、すでに開発は完了。タクシーの乗車希望と空車の情報をP2Pで結びつける「Demand Vehicle」などビジネスに結びつく利用法を開発中だ。



「SIONet」はファイル交換でなく情報探索レイヤーのP2P。次世代のP2P技術です、とアピール

特別講師

北川 正恭

早稲田大学名誉教授
早大マニフェスト研究所顧問
元三重県知事
マニフェストの提言者



IGO

早稲田大学との連携協定締結 & 産経新聞紙上3者対談

<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/topix-of-iot-ai-center/148-waseda200715.html>



早稲田大学、SCBラボとの包括連携協定を締結

2020年07月15日

[シェアする 0](#) [いいね! 0](#) [ツイート](#) [tumblr. +](#)

2020年7月15日、早稲田大学（花井俊介総合研究機構長）と一般社団法人SCBラボとの包括連携協定を締結いたしました。

今後は、地域創生に向けたイノベーション創発の活動や人材育成を協力して推進してまいります。

また、包括連携協定を記念いたしまして、北川正恭早稲田大学名誉教授（マニフェスト研究所顧問・元三重県知事）との記念囲碁対局、新聞紙上での対談などを実施します。早稲田大学、SCBラボと連携し熊本から全国に向けて、地域イノベーションを強力に推進してまいります。

早稲田大学総合研究機構：<https://www.waseda.jp/inst/cro/>

(一社)SCBラボ：<https://scblab.jp/>

Topics List

2023年05月24日

仮想空間デザインコンテスト

2023を開催します

2023年05月23日

「地域DX推進に向けたDXハブ

間連携」実証実験（トライア

ル）記者発表会 on J:COM

WEEKLY トピックス

2023年05月22日

SONYとのパートナー事業がくま

もと経済に掲載

2023年05月07日

情報学科未来情報コース学生ら

IGO

北川元三重県知事・大西熊本市長・星合センター長による産経新聞紙上対談

産経新聞 2021.4.25

「地域の変革」を促すDX視点とは

産経新聞転載許可済

ウェブサイト掲載日 2021年6月7日

引用元URL: 「地域の変革」を促すDX視点とは-産経ニュース



「『デジタルトランスフォーメーション (DX)』という文字を目にしない日はない」—そういえるほど、新型コロナウイルス禍はDXを加速させ、行動や意識の変容を促した。一方で、「地方はDXのスピードについていけない」という指摘があるなど、地域間のDX格差を懸念する声も少なくない。地域の変革を促すDX視点とは。「地方分権の旗手」と言われた元三重県知事で早稲田大学名誉教授の北川正恭氏、行政サービスのDXを積極的に推進する熊本市長の大西一史氏、インダスト

リー4.0の技術として注目されるP2P（ピアツーピア）の提唱者で知られる崇城大学（熊本）教授でSCBラボ所長、崇城大IoT・AIセンター長の星合隆成氏が語り合った。

教材

産経新聞コラム連載

<https://scblab.jp/document/112-sankei-column.html>

- 1) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (1) 地域イノベーション, 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200417/rgn2004170018-n1.html>, 2020.4.17.
- 2) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (2) 技術革新, 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200424/rgn2004240007-n1.html>, 2020.4.24.
- 3) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (3) P2Pの誕生 (上), 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200501/rgn2005010019-n1.html>, 2020.5.1.
- 4) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (4) P2Pの誕生 (下), 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200514/rgn2005140013-n1.html>, 2020.5.14.
- 5) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (5) P2Pサービス, 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200522/rgn2005220006-n1.html>, 2020.5.22.
- 6) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (6) SCB理論 (上), 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200529/rgn2005290029-n1.html>, 2020.5.29.
- 7) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地球を救う (7) SCB理論 (下), 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200605/rgn2006050021-n1.html>, 2020.6.5.
- 8) 星合隆成, イノベーション創発 新たな価値観が地域を救う (8) SCBラボの取り組み, 産経新聞, <https://www.sankei.com/region/news/200612/rgn2006120026-n1.html>, 2020.6.12.

- 1) 星合隆成, 人や組織, モノつなげ価値創出, 西日本新聞社説・オピニオン, <https://www.nishinippon.co.jp/item/n/607047/>, 2020.5.10.

西日本新聞社説

「イノベーション創発」

新たな価値観が地域を救う

崇城大学教授
早稲田大学招聘研究員
SCBイノベーションアカデミー 校長

P2P提唱者
工学博士 星合 隆成



SCBイノベーションアカデミーでの教材

少子高齢化、東京への一極集中、新型コロナウイルスの感染拡大などが、地域経済や地域活性化に深刻な影響を及ぼしている。これらの解決に向けた、地域創生の有効手段は、「地域にイノベーションを創発すること」である。

イノベーション創発は、「新たな発想で新たな価値観を生み出す」ことを意味し、「技術革新」と「新結合」に大別される。

技術革新は、技術の進展(革新的な技術)によって新たな価値観を生み出すことである。技術革新の成功事例として、産業革命がある。

第1次産業革命では、蒸気機関の発明で蒸気機関車などを生み出した。第2次産業革命の電気、第3次産業革命でのコンピューターによる新たな価値観は、世の中に大きな変革を促した。現在、第4次産業革命(インダストリー4.0)においてはAI(人工知能)、IoT(モノのイン

人や組織、モノつなげ価値創出

ターネット)、P2P(ピア・ツー・ピア)などが主要技術として位置づけられる。

P2Pはコンピューター同士、ユーザー同士を直接つなげるネットワーク技術である。コンピューターは一般的にサーバー(仲介者)を介してつながるが、仲介者なし(ブローカレス)のP2Pの技術が様々な分野で革新的なサービスを生み出した。インターネット電話のスカイプ、仮想通貨のブロックチェーン、SNS、P2P保険などである。

一方、新結合は「新たなつながりによって新たな価値観を生み出す」ことを意味する。我々は、この新結合が地域のイノベーション創発に有効と考えている。地域に点在する様々な資源同士の新たなつながりによって、新たな価値観を創出するのである。新結合によって地域にイノベーションを創発することを「地域イノベーション」と呼んでいる。そして、この地域資源を科学的につなげる手法としてP2Pに着目した。

P2Pの考え方を応用し、コンピューター同士が直接つながるように、人や組織、モノなどが結びつき地域イノベーションを創発する取り組みを「地域コミュニティブランド(SCB)」と定義した。熊本県、熊本市、ソフトバンク、マイナビなどが加盟する一般社団法人「SCBラボ」を中心に、全国50のプロジェクトを推進している。地域発展を目指し、様々な地域活性化の活動に取り組んでゆく。

崇城大情報学部教授

星合 隆成氏



地域革新とP2P

ほしあい・たかしげ 工学博士。崇城大IoT・AIセンター長も務める。元NTT研究所主幹研究員・参与。世界初のP2PであるSIONet。ブローカレス理論の提唱者。

つながりを科学する 地域コミュニティブランド

SOCIAL COMMUNITY BRAND

つながりを科学する
地域コミュニティブランド

工学博士 星合隆成

SCB: Social Community Brand

いま日本に必要なのは
ブロックチェーンを応用した
地域創生論です!

P2P提唱者が実証する、地域活性化手法。

これからの地域活性化には、ICT理論をビジネスで実践することが必要です!

工学博士 星合隆成

木楽會
KIRAKUSHI

新世代ネットワーク技術の全貌

ブローカレス モデルと SIONet

編著 工学博士 星合隆成

インターネットの新潮流

P2P・ユビキタステクノロジーの決定版

SIONetの発明者がP2P・ユビキタスの
コンセプトと原理を解き明かす

電気通信協会

新世代ネットワーク技術の全貌

ブローカレス モデルと SIONet

編著 工学博士 星合隆成

インターネットの新潮流

P2P・ユビキタステクノロジーの決定版

SIONetの発明者がP2P・ユビキタスの
コンセプトと原理を解き明かす

電気通信協会

パパッと
Python
ドリルで入門プログラミング
¥500 星合隆成/植村 匠 [共著]
通学・通勤中に!
いつでも、どこでも、
お手軽に!
短時間で
コツコツと!
パソコン不要!
森北出版株式会社

locus
Powered by AI/マイナビ
未来
LEARNING
INNOVATION

発行：株式会社マイナビ 進学情報事業部
監修：佐藤清章(大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授)
執筆者一覧：軽部 大(一橋大学 大学院 経営管理研究科 教授、イノベーション研究センター 教授)
河合亜矢子(学習院大学 経済学部 教授)
星合隆成(崇城大学 情報学部 教授、一般社団法人SCBラが所長・理事)
木村めぐみ(一橋大学 イノベーション研究センター 特任講師)
調査分析：館野泰一(立教大学 経営学部 特任准教授)

2020年2月作成

※本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部または全部について、
無断で複製・転載・改題・改訂・転載・複製・コピーすることは禁じられています。
©Myriani Corporation

年	組	番
氏名		

探究型
フィールド
スタディ

ワークブック

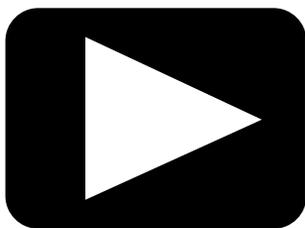
企業を知れば、
地元の「今」と「未来」が
見えてくる。

locus
Powered by AI/マイナビ

FIELD STUDY WORK BOOK

5分間で分かる
「地域コミュニティブランド：SCB」

「つながる」の本質を考える



崇城大学SCB放送局

2015.5

https://conceptlab.jp/doc/SCB_conect.m4v

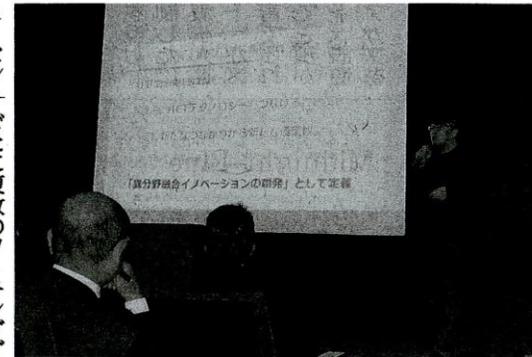
21団体による地域イノベーションのための実証実験

因縁を通じた人と人のつながりによる異分野融合イノベーションを創発

<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/topix-of-iot-ai-center/173-dx-dx.html>

DX推進 実証スタート

崇城大など21団体連携



崇城大IoT・AIセンターや県内を中心とする自治体、企業、学校、病院などの計21団体は24日、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により地域課題の解決を目指す実証実験を始めると発表し、それぞれの技術や資源を掛け合わせたDXによる地域活性化を目指す。参加するのは崇城大のほか熊本市、上天草市、NTT西日本、肥後銀行、ニューコ・ワン、道の駅阿蘇、熊本YMCA学院、谷田病院、熊本放送など。テーマ

ごとに複数のワーキンググループを作り実証を進める。具体的には、参加企業を持つ人工知能(AI)やインターネット上の仮想空間「メタバース」といった技術を使い、観光客の回遊情報を分析したり、各社の業務効率化につなげたりすることを想定している。熊本市西区の同大であった説明会で、星合隆成IoT・AIセンター長は「実証で得たデータや知見を基盤の構築を目指したい」と話した。(山本文子)

DX推進で地域課題解決を目指す実証実験について説明をする星合隆成・崇城大IoT・AIセンター長(右) 24日、熊本市西区

「地域DX推進に向けたDXハブ間連携」実証実験(トライアル)について

2023年03月14日

[シェアする](#) [いいね!](#) [ツイート](#) [tumblr. +](#)

プログラミング手法を学んでもシステムは開発できません。なぜなら、たとえば金融システムを開発するには金融の仕組みや金融に関する知識が必要だからです。プログラミングは手段にすぎないのです。同様に、デジタル技術を学んでもDX(デジタル変革)は起こせません。なぜなら、デジタルは手段であって本質は変革を起こすことだからです。変革を起こすためには、それぞれのビジネスの仕組みやその問題点、新たな価値を生み出すためのイノベーション創発手法に精通することが必要です。特に、DXの最終目標である「デジタルによる異分野融合イノベーション」を達成するには、複数の業界・分野・ビジネスモデルに関する理解が欠かせません。

そこで、崇城大学IoT・AIセンターが中心となって推進している、「異分野間の地域資源をつなげることによって新たなつながりから新たな価値観を創出すること(異分野融合イノベーション)」を目的とした「地域DX」の実証実験がスタートします。本実証実験の特長の一つは、崇城大学IoT・AIセンター長の星合隆成教授が1998年に提唱した「P2P」、ならびに、2011年に提唱した「SCB理論」に基づいて推進されることです。SCB理論は、個々のDXの取り組みを「横ぐし」にし、個々のDXの取り組みの最大公約数となるプラットフォーム(共通基盤)を構築するための共通言語です。

SCB理論に基づいて、IoT、AI、xR、メタバース、P2P、Web3.0などの最先端ICT技術でDXハブ(地域資源)をつなげることによって、地域DX・地域イノベーションのためのプラットフォームを構築します。

この実証実験には、熊本市、上天草市、肥後銀行、NTT西日本、道の駅阿蘇、蔦屋(ニューコワン)、アイデアITカレッジ阿蘇、熊本YMCA学院、成蹊大学吉見研究室、RKKCS、ナレッジコミュニケーション、九州ソフトス、株式会社F、谷田病院、熊本放送、くまもと県民テレビ、テレビ熊本、くまもと経済、一般社団法人SCBラボ、DXfKなど21団体が参画しています。



崇城大学 星合隆成教授

「多種多様な業種が結びついて新しい価値観を創造していきたい」

<https://www.youtube.com/watch?v=SIpzN6S3m9o>

4月24日(月) 崇城大学(熊本市西区)

「地域DX推進に向けた
DXハブ間連携」
実証実験(トライアル)
PRESS
CONFERENCE

<https://www.youtube.com/watch?v=AYOsyI-KW0I>

新たなビジネスモデルの確立、変革への挑戦について

- 異分野融合イノベーション、地域イノベーション、地域DX
- 多様性（業界、人、立場、目的、利益・・・）
- 新結合による新たな価値観の創出、イノベーション創発
 - 囲碁×福祉
 - 囲碁×大学の講義
 - 囲碁×子供の情操教育
 - 囲碁×DX
 - 囲碁×ロジカルシンキング
 - 囲碁×イノベーション
 - 囲碁×地域活性化
 - 囲碁×地域創生

IGO

たとえば、囲碁×福祉

- 囲碁の楽しさ、素晴らしさからの普及だけでなく
- 囲碁は福祉にも役立つんだとの有用性をPR
福祉業界がハッピー
- 福祉の分野の人を囲碁プレイヤーとして獲得
囲碁の普及、囲碁業界がハッピー
- win-winの関係の確立
- マネタイズの仕組みを確立

たとえば、**囲碁×地域活性化人材育成**

- **囲碁を通じた地域活性化の人材育成**
- **卒業生の地元定着、地域貢献**
- **大学、高校に囲碁講座（単位制）を開設**
 - **囲碁の効能の寄与**
 - **人材育成**
- **法人研修、自治体研修、リスキリング**

九州大学にて囲碁の講義

「囲碁」大学授業に採用、論理的思考を養う狙い 遊技人口減にも歯止めの「一手」

2015/10/19 07:53

産経WEST | ライフ

みんなの反応



九州大の授業で囲碁の面白さを伝える吉原由香里六段

囲碁をカリキュラムに取り入れる大学が増えている。九州大は10月の平成27年後期から、九州の国立大では初めて、教養を身につける「基幹教育」として、囲碁を導入した。大学側は学生の論理的思考の醸成を狙い、日本棋院（東京）は囲碁人口の減少と、国際大会での存在感低下に歯止めをかけようという「目算」を抱く。

九州大は平成27年度後期から「囲碁で養う考える力」を開講した。計15回の授業を通じてルールだけでなく、礼儀・作法、囲碁の成り立ちを、吉原氏らプロ棋士から教わり、単位となる。

(奥原慎平)

IGO

学生に囲碁文化、広げたい 日本棋院など、全国40大学で授業

有料記事

2018年7月12日 16時30分



list 0

日本棋院では、囲碁は、

「大局観（グランドデザイン）を養える」

「論理的な思考、集中力、忍耐力を養える」

「世代間、国際交流のコミュニケーション力を付ける」

「答えのない局面で考える力、能動的に考える（頭を使う）力を身につける」

「負ける経験をして、それを克服する心を鍛えられる」

ものとして、これを用いた授業を小・中・高・大学等各教育機関に導入の働きか

なお、平成27年9月現在、日本棋院が大学囲碁授業で協力している大学等は以

導入大学等一覧（導入年次順）

- 東京大学
- 皇学館大学
- 東京工業大学
- 京都大学
- 神奈川大学
- 東京学芸大学
- 東邦大学
- 青山学院大学
- 筑波大学
- 名古屋大学
- 大阪大学
- 熊本学園大学 ※
- 早稲田大学
- 埼玉大学
- 江戸川大学
- 福山大学
- 福島大学
- 九州大学
- 慶応大学
- 琉球大学
- 近畿大学
- 一橋大学
- 日本農業経営大学校



学生が演じる盤上の大乱戦にアドバイスする前田良二七段＝千葉県野田市の東京理科大

ボードゲームの囲碁を授業で教える大学が増えている。原動力は、低迷する囲碁人口のV字回復をねらう日本棋院。2005年に東京大で初めて開講し、現在は関西棋院の提携校も合わせると京都、早稲田、慶応など40大学に広まった。「ゲームを覚えて単位が取れる」と学生に人気だ。囲碁文化の新たな担い手を求め、日本棋院…

IGO

SCB理論に基づいた中長期経営・事業戦略（2014～2022の9年間の取り組み）

これまでのSCBの業績

2014年	SCB放送局キャンパススタジオ開局 地元メディアとの連携・レギュラー番組制作
2014年	アクティブラーニング講義の開講 KAB, FMくまもと, FM桐生との連携
2014年	コンセプトラボ（株）設立 女子大生社長による起業
2015年	SCB放送局新市街スタジオ開局 中心市街地への進出・産官学連携
2017年	21団体との包括連携協定締結 メディア企業、早稲田大学、熊本県、熊本市など
2018年	(一社)SCBラボ設立 地域活性化・DXイノベーション創発講座
2019年	SCBイノベーションアカデミー設立 熊本校・福岡校・群馬大学・群馬県庁など
2020年	崇城大学未来情報コースの開設 文理融合・2F・産官学連携・学部刷新プログラム
2020年	崇城大学IoT・AIセンター設立 DX人材・ハブ化・最先端テクノロジスタジオ開設
2022年	DX from Kumamoto設立 DX人材・DX推進・地方創生の推進
2022年	SONYとのパートナー事業の締結 DX人材・DXハブ構築
2023年	21団体DXハブ間連携実証実験のスタート 産官学連携・地方創生

狙い

文理融合と
アクティブラーニングの実践

起業支援

産官学連携の推進

文理融合
(情報社会学の推進)

DX・イノベーション人材育成と
ハブ（拠点）の構築

IGO

the end